

[参考資料]用語の解説(計画中 \* で記した用語を解説しています。)

行	用語	説明
あ	RE100	Renewable Energy 100%の略。企業等が自らの事業活動の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的な取組。
	RPA	Robotic Process Automationの略。人間がパソコン上で行っているキーボードやマウス等の端末操作を記録して自動化するソフトウェア。操作ルールが決まっており、人の判断が介在しない業務の効率化に対して有効とされている。
	IoT	Internet of Things(モノのインターネット)の略で、あらゆるモノがインターネットにつながっている状況、あるいはその技術を指す。例えば、IoTにより、家庭ではテレビやエアコンなどの家電製品がインターネットにつながることで外出先から操作が可能になったり、生産現場では産業機械の部品を作る装置がインターネットにつながることで全体の管理が可能となり、生産ラインの停止時間の縮減など生産の効率化が期待されている。
	ICT	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。情報(Information)や通信(Communication)に関する技術の総称。日本では同様の言葉としてIT(Information Technology: 情報技術)があるが、国際的にはICTの方が普及している。総務省の「IT政策大綱」が平成16年から「ICT政策大綱」に変更されるなど、日本でもICTという表現が定着しつつある。
	明日の農業担い手育成塾	就農を希望する者を確実に希望地での就農に導くため、関係機関が連携しておおむね2年間の実践研修の実施、農地の確保等を行う支援体制。
	あと数マイルプロジェクト	将来の人口・需要や新たな技術の動向等を十分に把握した上で、公共交通及び道路網の更なる利便性向上策について、これまでの経緯等も踏まえつつ検討し、限られた予算の中で、県境路線を含めた効果の高い部分について、重点的に整備を進めるもの。
	アフリカ豚熱	アフリカ豚熱ウイルス(ASFV)による、豚といのししの急性熱性伝染病。高い致死率と強い感染力を有する。本来、アフリカ大陸等に発生が限局していたが、平成19年にユーラシア大陸への侵入が確認された。平成30年に中国でアジア初の感染が確認され、急速に東南アジア諸国に広がった。我が国は未発生国だが、平成31年以降、訪日外国人の携行品で不法に持ち込まれた肉等製品からASFVの遺伝子が検出されるなど、国内侵入リスクが非常に高まっている。
	ESG投資	従来の財務情報だけでなく、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)要素も考慮した投資のこと。
	EQ(こころの知能指数)	Emotional Intelligence Quotientの略。知能指数であるIQに対し、「こころの知能指数」と呼ばれる。主に、挫折しても頑張れる能力、衝動をコントロールできる能力、他人に共感できる能力などを指すとされる。
	eコマース	Electronic Commerceの略。インターネットなどのネットワークを介して契約や決済などを行う取引形態のことで、インターネットでものを売買することの総称。
	eスポーツ	コンピュータゲーム(ビデオゲーム)をスポーツ競技として捉える際の名称であり、エレクトロニック・スポーツ(Electronic Sports)の略称。
	EBPM	Evidence-based Policy Makingの略で、客観的なデータ(エビデンス)に基づく政策立案のこと。
	EV・PHV	EV(電気自動車)は電動モーターで車を駆動させる自動車。 PHV(プラグインハイブリッド自動車)は外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車。
	石綿	天然に存在する繊維状鉱物で、アスベストとも呼ばれる。安価で丈夫なため、昭和30年頃から多くの建築物等に使用されていたが、石綿の粉じんを吸い込むと肺がんや中皮腫を発症するおそれがあり、平成18年9月以降全面的に使用が禁止されている。
	イノベーション	新しいものを生産する、あるいは既存のものを新しい方法で生産すること。創造的活動による新製品開発、新生産方法の導入、新マーケットの開拓、組織の改革などが挙げられる。
	医療的ケア	看護師や家族等が日常的に行っている経管栄養注入やたんの吸引など医療行為のこと。制度の改正により、医師や看護師以外についても、一定の研修を受けた者が医師の指示の下に、たんの吸引等の医療的ケアを実施できることとなった。
	AI	Artificial Intelligenceの略で、人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。
	AI-OCR	Artificial Intelligence-Optical Character Recognitionの略。手書きや印刷された文字を、イメージスキャナやプリンタ等で読み取り、コンピュータが利用できるデジタルのテキストデータに変換する技術であるOCRにAIを搭載した、手書きの読み取りづらい文字を認識することが可能な技術。
	AED	Automated External Defibrillatorの略。日本語訳は自動体外式除細動器ともいう。小型の医療機器で、体外(裸の胸の上)に貼った電極の付いたパッドから自動的に心臓の状態を判断し、心室細動という不整脈に対し、電気ショックで心臓の状態を正常に戻す機能を持っている。
	エシカル消費	人や社会・環境に配慮した消費行動のこと。消費者それぞれが社会的課題に気付き、その解決を考えたり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。障害者支援につながる商品、開発途上国の労働者の生活改善を目指すフェアトレード商品、環境に配慮したエコ商品などの持続可能性に配慮した商品を優先的に購入するなどがある。エシカルとは「倫理的・道徳的」という意味の英語。

行	用語	説明
あ	SDGs	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。平成13年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、平成27年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年(令和12年)までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っている。
	越境性動物疾病	国境を越えてまん延し、発生国の経済、貿易及び食料の安全保障に関わる重要性を持ち、その防疫には多国間の協力が必要となる疾病。
	LGBTQ	レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人)、クエスチョニング(自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない、または決めない人)など、性的少数者を表す総称の一つ。
	園務改善システム	園児の学籍・出欠・保健等に関する情報管理、保護者への情報提供、会計処理などの「園務」と呼ばれる業務を支援するシステム。
	大宮スーパー・ボールパーク構想	大宮公園の主要施設である野球場、サッカー場などの競技施設を核に魅力向上を図り、試合のある日もない日も楽しめる公園とするための構想。
	親の学習	家庭の教育力の向上を目指して行われる学習。中学生・高校生対象の「親になるための学習」と親対象の「親が親として育ち、力をつけるための学習」がある。
	オレンジリボンキャンペーン	児童虐待の現状を広く知らせ、児童虐待を防止し、虐待を受けた子供が幸福になれるようにという気持ちを込めて、オレンジ色のリボンを広めていく市民運動。児童虐待防止推進月間である11月には、国や各地方公共団体でオレンジリボンを活用した啓発活動を実施している。
	オンライン診療	医師－患者間において、情報通信機器を通して、患者の診察及び診断を行い診断結果の伝達や処方等の診療行為を、リアルタイムにより行う行為。
	オンライン服薬指導	服薬指導とは、薬剤師が患者に対して、薬の正しい服薬方法を説明すること。オンライン服薬指導とは、服薬指導をビデオ通話などの手段を使ってオンラインで行うこと。
か	カーボンニュートラル	人間活動を発生源とする温室効果ガス排出量と吸収源等による除去量が均衡する(実質的な排出量がゼロとなる)こと。
	カーボンリサイクル	CO <sub>2</sub> (二酸化炭素)を炭素資源と捉えて再利用すること。
	皆伐	林業で一定のまとまりのある森林内の立木の全部又は大部分を伐採すること。
	かかりつけ薬剤師・薬局	かかりつけ薬剤師とは、薬による治療のこと、健康や介護に関することなどに豊富な知識と経験を持ち、患者や生活者のニーズに沿った相談に応じることができる薬剤師のこと。「かかりつけ薬局」は、患者に選ばれた「かかりつけ薬剤師」のいる薬局がなることができる。
	学校応援団	学校における学習活動、安全確保、環境整備などについて、ボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織。
	学校ファーム	小中学校に農園を設置し、児童生徒が農業体験活動を通じて、生命や自然、環境や食物などに対する理解を深めるとともに、情操や生きる力を身に付けることを狙いといた取組。
	合併処理浄化槽	し尿及び生活雑排水(台所、風呂、洗濯などに使用した水)を戸別にまとめて処理する生活排水処理施設。従来のし尿のみを処理する単独処理浄化槽に比べて、河川などの公共用水域の汚濁を大幅に軽減する効果がある。
	環境コミュニケーション	地域住民、事業者、行政などが、化学物質など環境に関する正確な情報を共有し、お互いに理解を深めるために行う意見交換会のこと。開催することで化学物質による環境リスクの低減及び住民の不安解消が図られる。
	関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉。
	感染症病床	いわゆる感染症法で規定されている感染症のうち、危険性が高く特別な対応が必要な感染症について、患者の入院治療を行い、まん延防止を図るための基準に対応している病床。
	GIGAスクール構想	GIGAはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現させる構想、国の施策のこと。
	企業人材サポートデスク	平成29年度に現在の埼玉しごとセンター内に設置した県内企業の人材確保を支援するための拠点。企業からの人材確保に関する相談や、求職者に訴求しやすい求人票の作成の仕方等について専門の相談員が支援を行うほか、企業と求職者とのマッチングのための面接会も実施。平成30年度からは川越市内にも「埼玉県企業人材サポートデスク川越」を設置している。
	危険ドラッグ	麻薬や覚醒剤ではないが、それらと同じような幻覚や興奮作用などの有害性が疑われる薬物。規制を逃れるために使用目的を芳香剤、ビデオクリーナー、研究用試薬、観賞用植物、ハーブ、お香などと偽り、インターネットなどで販売されている。
	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)	気候変動に関する政府間パネル(Intergovernmental Panel on Climate Change:IPCC)は、昭和63年に国連環境計画(UNEP)と世界気象機関(WMO)により設立された組織。人間活動による気象変化、影響、対策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的評価を行う。

行	用語	説明
か	揮発性有機化合物 (VOC)	炭素を含む化合物のうち、揮発しやすく大気中で気体となる性質を持つ化合物の総称。具体的にはトルエン、キシレンなどが挙げられる。塗料、インク、接着剤、クリーニングの溶剤などに含まれ、微小粒子状物質や光化学オキシダントなどの原因物質である。
	キャッシュレス	クレジットカードや電子マネー、口座振替を利用して、紙幣・硬貨といった現金を使わずに支払・受取を行う決済方法のこと。
	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促す教育。
	キャリアチェンジ	今までのキャリアから路線変更をして、未経験の業界や職種へ転職すること。
	共生社会	障害を理由とする差別を解消し、障害者と障害者でない者とが分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、地域の中で共に手を取り合って暮らすことのできる社会。
	共同活動	草刈り、水路や農道の維持など農山村の機能を維持するため集落などで共同で取り組む活動。
	緊急交通路	大規模災害(地震、豪雨、豪雪、洪水、竜巻など)の発生時又は発生が予想される場合に、災害応急対策(人命救助や物資輸送など)を的確かつ円滑に行うため、災害対策基本法等の規定に基づき、区間又は区域を定めて、都道府県公安委員会が緊急通行車両等以外の車両の通行禁止又は制限する交通規制(緊急交通路の指定)を実施した道路。
	緊急輸送道路	災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する幹線的な道路。
	ケアラー	高齢、身体上、精神上的の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を行っている人。ケアラーの中でも、18歳未満の人はヤングケアラーという。
	健康マイレージ	県民へ健康づくりを促す仕組みであり、健診受診や毎日の歩数などに応じてポイントを貯め、貯まったポイントを地域商品券や地域の特産品と交換したり、景品が当たる抽選に参加することなどができる。
	広域流通食品等製造施設	全国のスーパーやコンビニエンスストア等において大量に販売されている食品を製造する施設。
	光化学オキシダント	工場や自動車の排出ガスなどに含まれる窒素酸化物や揮発性有機化合物が太陽の紫外線で光化学反応を起こすことにより発生する有害な酸化性物質。
	後期研修医	日本専門医機構が定めた専門医の取得を目的とする研修期間中の医師のこと。一般的に後期研修期間は、卒後3～6年目、臨床研修後に専門医を取得するまでの期間を指す。
	高次脳機能障害	病気や事故などの原因により、脳が損傷を受けたことによる記憶・判断などの認知機能や感情・意思などの情緒機能に障害が現れた状態をいう。
	高等技術専門校	職業能力開発促進法に基づき、県が設置している職業能力開発校の名称。求職者及び在職者を対象に職業訓練を実施しており、県内に6校1分校ある。職業能力開発センターでは障害者を対象とした職業訓練も実施している。
	さ	高病原性鳥インフルエンザ
合理的配慮		障害のある人が日常生活や社会生活を送る上で妨げとなる社会的障壁を取り除くために、状況に応じて行われる配慮のこと。例としては、車いすの方が乗り物に乗るときに手助けをすることや、窓口で障害のある方の障害の特性に応じたコミュニケーション手段(筆談、読み上げなど)で対応することなどが挙げられる。障害者差別解消法により、事業者には合理的配慮の提供が求められている(国・地方公共団体は法的義務、民間事業者は努力義務)。
コージェネレーションシステム		都市ガス、石油、LPGなどを燃料として、エンジン、タービン、燃料電池などの方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収・利用するシステム。回収した廃熱を利用することにより、エネルギー効率が高くなる。
子供の居場所		内閣府では、子供の居場所は「家でも学校でもなく居場所と思えるような場所」と定義している。代表的な居場所としては、子ども食堂、無料塾、プレイパークなどが挙げられる。子供の自己肯定感を育む場として、近年、注目されている。
コミュニティ・スクール		学校運営協議会を設置している学校のこと。学校運営協議会は、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて共に協働していく仕組み。
コミュニティバス		交通空白地域、不便地域の解消等を図るため、市町村等が主体的に計画し、運行する乗合バスや乗合タクシーのこと。
コロナ禍		新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況を指す言葉。
サービス付き高齢者向け住宅	安否確認や生活相談サービスなどを提供するバリアフリー構造の高齢者専用住宅。事業者は県、政令市、中核市などから登録を受ける。	
再生可能エネルギー	太陽光、太陽熱、風力、水力、地熱、バイオマスなど、永続的に利用することができるエネルギーの総称。	

行	用語	説明
さ	在宅医療連携拠点	病気を持ちながらも住み慣れた地域で自分らしく過ごす在宅医療を可能とするため、ケアマネジャーの資格を持つ看護師などが地域の医療・介護を横断的にサポートする相談窓口。県内全ての郡市医師会に設置。
	埼玉応援団	正式名称は「埼玉応援団」、愛称は「コバトン倶楽部」。他の都道府県では「〇〇県観光大使」「〇〇県親善大使」などの名称がよく使われているが、埼玉県では親しみやすさを前面に打ち出すべく、当該名称を採用している。
	埼玉県学力・学習状況調査	本県の子供たちの学力や学習状況を把握するための調査で、小学校4年生から中学校3年生を対象としたもの。学習内容の定着度や一人一人の学力の伸びを把握することで、教育施策や指導の改善を図る。この調査では、学力のほか、自制心、自己効力感、勤勉性、やり抜く力などの非認知能力についても調査をしている。
	埼玉しごとセンター	平成24年10月に、武蔵浦和合同庁舎(ラムザタワー)にオープンした総合就業支援施設。県が行う就職相談などのサービスとハローワークの職業紹介を一体化し、相談から就職までスムーズかつスピーディーにワンストップの支援に努めている。令和3年4月1日に、従来の名称であった「ハローワーク浦和・就業支援サテライト」から名称変更を行った。
	埼玉版スーパー・シティプロジェクト	コンパクト(必要な機能が集積しゆとりある魅力的な拠点を構築)、スマート(新たな技術の活用などによる先進的な共助の実現)、レジリエント(誰もが暮らし続けられる持続可能な地域を形成)の要素を踏まえたまちづくりを市町村や民間企業等と共に取り組むもの。
	埼玉未来大学	50歳以上の方々を対象に令和2年に創設されたシニアの学びの場。元気に自立していきいきと活躍するための知識や習慣が学べる「ライフデザイン科」とNPO活動やボランティア活動、起業などを目指すシニアの方に実践的なノウハウを提供する「地域創造科」がある。
	SAITAMAリバーサポーターズ	県内で川との共生や保全に取り組む個人、団体や企業がサポーターとして参加することができる仕組み。サポーターとなることで県から資材提供などの支援を受けたり、SNS等で川に関する情報を受け取ることができるなどのメリットがある。
	彩の国ロードサポート制度	美しい道路環境づくりのため、住民団体・学校・企業などがボランティアで道路の清掃美化活動に取り組む制度。ボランティアで歩道の清掃活動や、植樹帯の花植えなどの美化活動を行う団体に対し、道路管理者の県が、用具や花苗の提供、表示板の設置などの支援を行う。
	サイバー攻撃	コンピューターネットワークにつながれたシステムへの不正侵入や改ざんなどの行為。政治的、社会的理由に基づき、社会に混乱をもたらしたり、国家の安全保障を脅かしたりすることを目的とする破壊活動は、特にサイバーテロともいう。
	サイバーセキュリティ	サイバーセキュリティ基本法において、「電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式により記録され、又は発信され、伝送され、若しくは受信される情報の漏えい、滅失又は毀損の防止その他の当該情報の安全管理のために必要な措置並びに情報システム及び情報通信ネットワークの安全性及び信頼性の確保のために必要な措置(情報通信ネットワーク又は電磁的方式で作られた記録に係る記録媒体を通じた電子計算機に対する不正な活動による被害の防止のために必要な措置を含む)が講じられ、その状態が適切に維持管理されていること」と定義されている。
	里親	都道府県知事等の登録を受け、保護者の病気や離婚、児童虐待など様々な事情によって、家庭で養育できない子供たちを、自らの家庭で養育する方。
	サプライチェーン	製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れのことをいう。
	ジェトロ埼玉	正式名称は独立行政法人日本貿易振興機構埼玉貿易情報センター。輸出・海外進出など海外ビジネスに関する相談対応、セミナー・勉強会の開催、海外展示会・商談会の出展や海外バイヤーの国内招へいなどによる商談支援、専門家による一貫支援などの支援を実施している。令和元年11月1日、ソニックシティビル内にオープン。
	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認された医薬品で後発医薬品ともいう。一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっており、患者の経済的負担の軽減や医療保険財政の改善が期待できる。
	市街地再開発事業	低層の木造建築物が密集し、生活環境の悪化した市街地において、細分化された敷地を統合し、不燃化された共同建築物に建て替え、併せて駅前広場や街路などの主要な都市の基盤施設や緑地・広場といった都市環境に潤いを与えるオープンスペースなどを確保し、快適で安全なまちに一新する事業。
	自主防災組織	災害が発生したときに初期消火や避難誘導などの活動を自主的に行う地域住民組織。
	次世代型太陽電池	高い発電効率や軽量性、柔軟性など、現行の太陽電池を超える性能を有する太陽電池。
	持続可能な開発のための教育(ESD)	持続可能な社会づくりの担い手を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身に付けるための教育。ESDはEducation for Sustainable Developmentの略。
	児童福祉施設	児童福祉法に定められた次の施設のこと。助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童厚生施設、児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター。
	児童養護施設	保護者のない児童、虐待されている児童など環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護するとともに、退所した者に対する相談など、自立のための援助を目的とする施設。

行	用語	説明
さ	シニア活躍推進宣言企業	定年の廃止や定年・継続雇用の年齢延長、働きやすい職場環境づくりなどに取り組む県内企業のうち、県が認定し、高齢者の活躍を内外に宣言した企業。
	CIM	Construction Information Modeling/Managementの略。計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルに連携・発展させ、併せて事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るもの。
	若年無業者	15～34歳の非労働力人口(就業者と完全失業者以外の者)のうち、家事も通学もしていない者。
	周産期医療	周産期とは、妊娠満22週から出生後満7日未満までの期間をいう。この時期は母子共に異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科・小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現されている。
	柔軟な働き方	テレワークや勤務シフトの選択制など、時間や空間の制約にとらわれない働き方。
	主権者教育	政治の仕組みについて必要な知識の習得のみならず、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う力を育む教育。
	主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)	主体的な学びとは、学習活動を見通し、振り返り、課題を解決していこうとすること。対話的な学びとは、学び合い等、他者と協働すること等によって、多様な見方・考え方を学ぶこと。深い学びとは、見方・考え方を働かせて、自分自身の次の課題を見つけること。
	生涯現役社会	働く意欲のある高齢者が能力や経験を生かし、年齢に関わりなく働くことができる社会。
	消防広域化	市町村が消防事務(消防団の事務を除く)を共同して処理すること又は市町村が他の市町村に消防事務を委託することにより、スケールメリットを生かし消防体制を強化すること。
	職業教育	一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能や態度を育てる教育。
	食品ロス	本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品。事業活動に伴って発生するものと家庭から発生するものがある。
	女性キャリアセンター	働きたい女性、働く女性を支援する就業支援施設。女性の仕事に関する相談やセミナー、職場体験、ハローワーク求人情報の検索・職業紹介を行っている。
	針広混交林	針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。異なる樹種が混在することにより、枝や根が健全に育ち、水源かん養機能の向上が期待できる。また、樹種が豊富になることで生物多様性の向上などにも寄与する。
	人生100年時代	ロンドン・ビジネス・スクール教授の著書の中で提唱された言葉。寿命の長期化によって先進国の2007年(平成19年)生まれの2人に1人が103歳まで生きる「人生100年時代」が到来するとされている。
	侵略的外来生物	国外や国内の他地域から人為的(意図的又は非意図的)に持ち込まれることにより、本来の分布域を越えて生息又は生育する生物のうち、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるもの。
	水源(の)かん養	樹木・地表植生及び土壌などにより雨水、融雪水を一度貯留し、徐々に溪流に放出させて、濁水を緩和することや水質の浄化を行うことをいう。
	SKIPシティ	Saitama Kawaguchi Intelligent Parkの略。中小企業の振興と次世代映像産業の導入・集積並びに国際競争力を備えた人材育成を目指し、平成15年2月に川口市内にオープンした施設。
	スクラップ・アンド・ビルド	現在行っている事業を精査して、役割を終えた事業や費用対効果の低い事業などを廃止(スクラップ)して、今の時代に必要な事業や費用対効果の高い事業を新たに築き上げる(ビルド)こと。
	スマートインターチェンジ	高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ。通行可能な車両(料金の支払方法)を、ETCを搭載した車両に限定している。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できるなどのメリットがある。
	スマート農業	ロボット技術やICTなどを活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している農業のこと。
	スマート林業	ロボット技術やICTなどを活用して、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産等を推進している林業のこと。
	生活習慣病	食事や運動・喫煙・飲酒・ストレスなどの生活習慣が深く関与し、発症の原因となる疾患の総称。がん・脳血管疾患・心疾患、更に脳血管疾患や心疾患の危険因子となる動脈硬化症・糖尿病・高血圧症・脂質異常症などはいずれも生活習慣病であるとされている。
	精神障害に対応した地域包括ケアシステム	精神障害者が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保されたシステムのこと。高齢期におけるケアを念頭に論じられている「地域包括ケアシステム」における、必要な支援を地域の中で包括的に提供し、地域で自立した生活をするという考え方を、精神障害者のケアにも応用したものであり、高齢期の「地域包括ケア」とは異なる。
	性的マイノリティ	同性愛者・両性愛者・生まれたときの性別と自認する性別が一致しない人などのこと。性的少数者。セクシュアルマイノリティ。

行	用語	説明
さ	セカンドキャリア	最初のキャリア(ファーストキャリア)の次に検討する職業や生き方を指す言葉。
	セカンドキャリアセンター	シニアをはじめとする全ての求職者を対象に、就職相談から職業紹介まで一体的に実施する支援拠点。県内9か所(さいたま市、所沢市、草加市、川越市、加須市、春日部市、深谷市、秩父市、伊奈町)に会場がある。
	全国学力・学習状況調査	文部科学省が実施する、全国的に子供たちの学力・学習状況を把握するための調査で、小学校6年生及び中学校3年生を対象としたもの。
	潜在保育士	保育士資格を持ちながら保育士として就業していない者。
	ソーシャルビジネス	環境保護、高齢者・障害者の介護・福祉から、子育て支援、まちづくり、観光など多種多様な社会的課題をビジネス手法で解決していく事業活動のこと。
	Society5. 0	①狩猟社会、②農耕社会、③工業社会、④情報社会に続く、人類史上5番目の新しい社会で、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決の両立する人間中心社会。
た	大規模事業者	食品等の取扱いに従事する者が50人未満の小規模な営業者等を除いた食品の製造・加工、調理、販売等を行う事業者。大規模事業者は、HACCPに基づき、使用する原材料や製造方法等に応じた衛生管理計画を作成した上で、自主検査の実施に努めることとされている。
	体験型観光	その地域でしか体験できない要素を取り入れた旅行の形態を指す言葉。事例として、景観を生かしたサイクリングツアーや地域の食を巡るフードツアー、自然を生かしたアクティビティなどがある。
	第3セクター鉄道	地方公共団体が出資又は出えんを行っている会社法に基づき設立された法人など(第3セクター)が運営する鉄道及び軌道、又はこれを運営する鉄道事業者及び軌道事業者のこと。
	多様な働き方	労働者のニーズに応じて、時間・場所・雇用形態・兼業等が多様である働き方。例えばフレックスタイム制やテレワークにより、比較的自由に働く時間や場所を決められることで育児や介護との両立がしやすくなったり、副業が可能となることで所得の増加、キャリア形成のための資格取得やスキル向上が見込める。
	多様な学びの場	通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった様々な学びの場のこと。
	男女共同参画推進センター	男女共同参画社会づくりのための総合拠点。男女共同参画社会の実現に向けた県の施策を実現するとともに、県民や市町村の男女共同参画の取組を支援することを目的として、次のような事業を行っている。 ①情報収集・提供事業、②相談事業、③講座・研修事業、④自主活動・交流支援事業、⑤調査・研究事業
	地域ケア会議	多職種の協働による個別ケースの支援を通じた①地域支援ネットワークの構築、②高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援、③地域課題の把握などを行う会議。
	地域高規格道路	東北道、関越道、圏央道などの高規格幹線道路を補完し、地域の自立発展や地域間の連携を支える、自動車専用道路もしくは、これと同等の規格を有する道路。県内では、新大宮上尾道路、東埼玉道路、西関東連絡道路などがある。
	地域包括ケアシステム	医療や介護が必要になっても、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、日常生活圏域の中で、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいが包括的に提供される体制。
	地域包括支援センター	市町村が設置し、高齢者や家族に対する総合的な相談支援や介護予防のケアマネジメント、虐待の防止や早期発見など権利擁護事業、ケアマネジャーへの支援などを行う機関。
	チームオレンジ	ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み。国の認知症施策推進大綱では、2025年(令和7年)までに全市町村で整備することがKPI(目標)として掲げられている。
	治山施設	山崩れ、地すべり、土石流など、山地災害の未然防止や被害の軽減、災害の復旧のために設置するダムや土留などの工作物。
	知的財産活用	発明、考案、著作物など人間の創造的活動により生み出されるもの、商標、商号など事業活動に用いられる商品や役務を表示するもの、営業秘密その他の事業活動に有用な技術上や営業上の情報を商品化・技術化し、ビジネスに結び付けること。
中山間地域	山間や山沿いの、山林や傾斜地が多く、まとまった平地が少ない地域のこと。農業を含め、事業活動が平地と比べて不利となっている。	
超スマート社会	サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。	
デジタルトランスフォーメーション(DX)	デジタル(Digital)と変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)により作られた造語で、様々なモノやサービスがデジタル化により便利になったり効率化され、その結果デジタル技術が社会に浸透することで、それまでには実現できなかった新たなサービスや価値が生まれる社会やサービスの変革を意味する。	
デマンド交通	電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。	
テレワーク	「情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」のこと。Tel(離れて)とWork(仕事)を組み合わせた造語。	

行	用語	説明
た	電子処方箋	電子化された処方箋のこと。処方箋の電子化は、医療機関と薬局の連携や服薬管理の効率化等に資するだけでなく、電子版お薬手帳等との連携により、患者自らが服薬等の医療情報の履歴を電子的に管理し、健康増進への活用の第一歩になるなど、多くのメリットがある。
	東京2020オリンピック・パラリンピック	2021年夏季に東京及びその周辺で開催されるオリンピック・パラリンピック大会。オリンピックは2021年7月23日(金)～8月8日(日)の日程で、パラリンピックは2021年8月24日(火)～9月5日(日)の日程で開催される。埼玉県でもオリンピック4競技(バスケットボール、サッカー、ゴルフ、射撃)とパラリンピック1競技(射撃)が開催される。
	統合型校務支援システム	児童生徒の学習・出欠席・成績管理、通知表・指導要録作成、教職員間の情報共有などの多岐にわたる機能を持つ、学校における広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を持つシステム。
	道路啓開体制	緊急車両等の通行のため、1車線でもとにかく通れるように早急に最低限のがれきの排除や放置車両の移動などを行い、救援ルートを開けられるよう取り組む体制。
	特殊詐欺	被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪(現金等を脅し取る恐喝を含む)の総称であり、オレオレ詐欺のほか、金融商品等取引名目、ギャンブル必勝情報提供名目、異性との交際あっせん名目等の詐欺がある。
	特別養護老人ホーム	常時介護が必要で在宅での生活が困難な要介護者に、介護や日常生活の世話などのサービスを提供する施設。
	特命観光大使	県内外からの観光客誘致の拡大、県産品の販売拡大を図るため、県の観光や物産の魅力を自発的かつ積極的に発信する意思のある本県ゆかりの著名人を「埼玉特命観光大使」に任命している。
	都市のスポンジ化	人口減少、核家族化などを背景に、まちなかにスポンジの穴のように空き家、空き地等が、小さな敷地単位で、時間的・空間的にランダムに、相当程度の分量で発生する現象。
	土地区画整理事業	一定のエリアで、道路、公園、河川などの公共施設を一体的に整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。
	ドメスティック・バイオレンス(DV)	一般的に、「配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)者から振るわれる暴力」のことを指す。
な	認知症バリアフリー	移動、消費、金融手続き、公共施設の利用など、生活のあらゆる場面で、認知症になってからでもできる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくために障壁が取り払われること。
	認定こども園	①幼児教育②保育③地域子育て支援を一体的に提供する施設。幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つため、親が働いている、いないにかかわらず利用できる。
	認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、経営改善を図るための農業経営改善計画を作成・申請し、市町村等から認定を受けた者。 農業経営改善計画とは、農業者が経営規模の拡大や生産方式の合理化などについて、5年後の改善目標とその達成に向けた方策をまとめた計画。
	ネウボラ	フィンランド語で「アドバイスする場所」を意味し、子育て地域包括支援センターのことを指している。市町村が設置する妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点のこと。
	ネットリテラシー	インターネット上の情報を十分に使いこなせる能力。インターネット上の情報の正確性を読み取り、情報の取捨選択や適切な判断などができること。
	燃料電池	燃料である水素と酸化剤を外部から供給しつつ反応させて電気を取り出すタイプの電池。燃料電池の用途は幅広く、燃料電池自動車から家庭用の燃料電池、また、移動体用途としては、バス、船等がある。
	農業集落排水	農業用水の水質を保全し、農山村における生活環境を改善するため、農山村地域における生活雑排水やし尿などの汚水を処理する施設。
	農商工連携	農業者と商工業者が通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを生かして売れる新商品・新サービスの開発、生産などを行い需要の開拓を行うこと。
	農地中間管理事業	担い手への農地の集約・集積化を促進するため、農地の中間的受皿となる組織(農地中間管理機構)を通じた農地の借受け、貸付けを行う事業。
は	バイオマス	間伐材や稲わら、家畜の排せつ物など生物由来の再生可能な有機性資源のこと。
	HACCP	HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point:危害分析・重要管理点方式)とは、従来の最終製品の抜取検査による衛生管理ではなく、食品の製造における重要な工程を連続的に監視することで、一つ一つの製品の安全性を保証しようとする国際標準の衛生管理手法。
	バスまちスポット	バス停留所の近くで、バスを気軽に待てる施設として、店舗や公共施設、病院等を登録する制度。バスの時刻表の掲示・配布のほか、施設により様々なサービスを提供している。
	働き方改革	働く人々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革。改革を実現するための施策として、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現に向けた支援等がある。
	8050問題	高齢で働けなくなり生計に不安を抱える80代の親が、自立できない事情を抱える50代の子供を支え、生活に困窮したり、社会から孤立してしまったりする問題。

行	用語	説明
は	発達障害	自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、その他これに類する脳機能の障害であってその障害が通常低年齢において発現するもの。
	パパ・ママ応援ショップ	企業を含めた地域社会全体で子育てを応援し、子育て家庭が「子供をもって良かった」「地域社会に支えられている」と実感できる社会づくりを進めるため、平成19年度に開始。18歳に達して次の3月31日を迎えるまでの子供又は妊娠中の方がいる世帯の方がパパ・ママ応援ショップ優待カード又はスマートフォンアプリを協賛店で提示すると、割引などのサービスが受けられる。
	BCP	Business Continuity Plan(業務継続計画あるいは事業継続計画)の略。自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、中核となる業務(事業)の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における業務(事業)継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。
	ヒートアイランド	空調による人工排熱やコンクリートの建物による蓄熱などにより、都市中心部の気温が郊外に比べて高くなる現象。
	微小粒子状物質(PM2.5)	大気中に浮遊する物質のうち、粒径2.5 $\mu$ m(マイクロメートル: $\mu$ m=100万分の1m)以下の小さな物質。肺の奥深くまで入りやすく健康への影響も大きいと考えられている。
	ビッグデータ	ICTの進展により、生成・収集・蓄積等が可能かつ容易となった多性多量のデータの概念。近年、様々なものがインターネットにつながるIoTやセンサー技術等の発達により大量に生み出されているデータ(ビッグデータ)を収集・分析することができるようになってきた。単独では一見価値を生み出さないようなデータであっても大量に集めて分析することによって、新たな知見を得られることがあり、ビッグデータ活用の取組が盛んになってきている。
	病児保育	病気や病気回復期にあり、集団保育が困難で、保護者の勤務等の都合により家庭で保育できない児童を医療機関や保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育するほか、保育中に体調不良になった児童への緊急対応等を行う。
	5G	令和2年3月から国内でも商用開始された第5世代移動通信システムのこと。これまでの移動体無線技術の進化の延長線上にある超高速通信だけでなく、超低遅延通信及び多数同時接続といったこれまではなかった新たな機能を持つ。
	FEMA	Federal Emergency Management Agency(連邦緊急事態管理庁)の略。1979年(昭和59年)に米国で創設された災害対応の政府機関。その後、国土安全保障省(DHS)の傘下に入った。
	不本意非正規雇用	正規の職員・従業員の仕事がないために、やむを得ず非正規雇用の職に就くこと。
	フレイル	『フレイル診療ガイド 2018年版』(日本老年医学会/国立長寿医療研究センター、2018)によると、「『加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態』を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語である。フレイルは、要介護状態に至る前段階として位置付けられるが、身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する」と定義されている。
	フロン類	フロン類は冷蔵・冷凍・空調機器の冷媒等に幅広く使用されている。大きくクロロフルオロカーボン(CFC)、ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)の3種類に分けられ、地球温暖化係数がCO <sub>2</sub> の数百から1万倍超の温室効果が大きい物質である。CFC、HCFCはオゾン層破壊物質でもある。
	保安林	洪水や濁水の緩和、土砂流出の防止などを目的に、森林法に基づいて指定され、伐採などの行為が制限される森林。
	放課後子供教室	全ての児童を対象として、放課後や週末などに小学校の余裕教室などを活用し、地域住民の参画を得て、子供たちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行うもの。
	放課後児童クラブ	保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るもの。
	ほ場整備	農地の区画の整備、用排水路の整備、土層改良、農道の整備、農地の集団化等を実施することによって労働生産性の向上を図り、農村の環境条件を整備すること。
	ポストコロナ	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を境に価値観や行動様式の転換が起き、社会に定着する期間。
	ポップカルチャー	大衆向けの文化全般のことを表すが、現在では「訴求力が高く、等身大の現代日本を伝えるもの」という意味でも使われる。具体的には、漫画、アニメ、映画、ゲーム、ライトノベル、ポピュラー音楽、テレビなどのことを指す。
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物	ポリ塩化ビフェニル(PCB)を含む廃棄物。PCBは、変圧器やコンデンサーなどの電気機器の絶縁油として使用されていたが、有害であることが判明したため、製造や輸入、新たな使用が禁止されており、令和9年3月31日までの処分が義務付けられている。
	ポリファーマシー	多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態。単に服用する薬の数が多いいことでない。



行	用語	説明
ま	マイ・タイムライン	台風直撃など風水害が予想される際に、どのタイミングで、どこへ避難するのかを、市町村の洪水ハザードマップ等を確認しながら決めておく避難行動計画。災害時の避難の判断をサポートし、災害の危険性を改めて考えるきっかけとなるなど、防災意識を高める効果が期待できる。
	水資源開発施設	安定的な水利用を可能にするため、河川の流量の変動にかかわらず、年間を通じて一定の水量を河川から取水できるようにするためのダムや堰などの施設。
	ミッシングリンク	主要都市間等を連絡する幹線道路等のうち未整備の部分。
	ミドル世代	明確な定義はないが、転職市場や国・都道府県が実施する就業支援においておおむね35歳以上54歳以下の年齢層を指す。
	民有林	国有林以外の森林のこと。個人、会社・寺社などが所有する私有林及び都道府県・市町村が所有する公有林などの総称。
	目標設定型排出量取引制度	エネルギー使用量が3か年度連続して原油換算で年間1,500kl(キロリットル)以上の事業所を対象に、事業所ごとに二酸化炭素の排出削減目標を設定し、目標達成を求める制度。目標の達成に、他者の削減量、再生可能エネルギー及び森林吸収量などを利用(排出量取引)できる。
や	要配慮者	高齢者、障害者、難病患者、乳幼児、妊産婦、外国人など、災害時の避難行動や情報伝達、避難生活等に特に配慮が必要な人々。
ら	ライフスキル教育	子供たちに日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処する力を身に付けさせることで、児童生徒の望ましい行動変容に結び付ける教育方法。コミュニケーションを重視する教育方法であることから、いじめや不登校、非行問題行動などの課題解決に有効である。
	ラグビーワールドカップ2019	2019年に日本国内で開催された第9回ラグビーワールドカップ。大会は2019年9月20日(金)～11月2日(土)の日程で、熊谷ラグビー場を含む全国12の会場で開催された。
	リカレント教育	職業人を中心とした社会人に対して学校教育の修了後、一旦社会に出た後に行われる教育であり、職場から離れて行われるフルタイムの再教育のみならず、職業に就きながら行われるパートタイムの教育も含む。再就職や職業能力の向上を目的に学ぶ場合に限らず、心の豊かさや生きがいのために学ぶ場合、学校以外の場で学ぶ場合も含めた広い意味で使われている。
	立地適正化計画	持続可能な都市構造への再構築を目指し、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するためのマスタープランであり、市町村が必要に応じて策定する計画。持続可能なまちづくりに向け、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能を誘導するもの。
	流域治水	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。
	流域貯留浸透施設	河川への雨水の流出を抑制・軽減するため、学校、公園、住宅などに設ける雨水を一部貯留又は浸透させる施設。流域貯留浸透施設には、調整池や透水性舗装のほか、地表に設置した「ます」を通して雨水を地中に浸透させる「雨水浸透ます」などがある。
	緑化計画届出制度	敷地面積1,000m <sup>2</sup> 以上の建築行為を行う場合は、緑化を行う計画を県に届け出ることを義務付けた制度。
	臨床研修医	臨床研修とは、医師が将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることを目的に実施される研修のこと。この研修期間中の医師を臨床研修医という。医師法の改正により、平成16年度から2年以上の臨床研修が必修化された。
	レガシー	英語で「遺産」を意味する言葉。なお、IOC“Olympic Legacy and Impacts”では、オリンピックの開催を契機として社会にもたらされ、その後持続する「長期的にわたる、特にポジティブな影響」のことを「オリンピック・レガシー」と称しており、オリンピック・レガシーの分野としてスポーツ、社会、環境、都市、経済の5分野を挙げている。
	レジリエンス	英語で、「強靭さ」を意味する言葉。地域においては、災害などの突発的な変化や平常時の重圧に対して、より着実に耐久し、適応するための能力とされる。
	6次産業化	農業者が農産物の生産(1次産業)に加え、加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)にも主体的に関わり、農業経営に新たな付加価値を取り込むこと。1次×2次×3次=6次産業。